

かながわコミュニティカレッジ運営業務実施報告書

令和6年7月～10月分

(令和6年10月25日現在)

1 業務の名称

令和6年度かながわコミュニティカレッジ運営業務

2 実施した業務の内容等

実施日時	実施方法・内容等	備考
7月1日～ 10月25日	<p>○講座開催計画等の策定</p> <p>○講座企画実施団体への支援業務</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和6年度計画講座の企画実施団体又は講師と打合せをする等、講座開催時期や内容等の調整・確認を行い、7月より順次講座を開催した。また、年度後半に開催する10講座の調整、準備等を行った。</li> <li>・特にコミュニティカレッジでの講座実施経験が少ない団体には講座カリキュラムや運営について個別に相談・助言を行った。</li> </ul>	
7月1日～ 10月25日	<p>○受講生募集のための広報</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主催講座、連携講座の募集チラシをそれぞれ作成、県内の公共施設等へ送付・配架依頼した。 (作成数:13件、送付先:約800件)。</li> <li>・講座情報を下記の媒体を通じて告知した。 県のたより、かながわコミュニティカレッジのホームページ(県のHP及び受託団体運営HP)、講座修了生向けメール、基金事業課・NPO協働推進課のメールマガジン、県のTwitter、Facebook、Peatix、県民センター1階デジタルサイネージ、県内市民活動支援センター・社会福祉協議会のWEB広報への依頼等</li> <li>・「かながわ人生100歳時代ネットワーク」に参加し、講座情報の提供などを行った。</li> </ul>	
7月1日～ 10月25日	<p>○修了生の地域・社会活動への参加促進や活動支援など</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・過去の受講生(メール配信希望者)と、県のホームページ経由で申込のあったメール配信登録者に宛て、講座情報やボランティア活動相談窓口の案内を掲載したメールを配信した。 (配信日:9月7日、配信件数:3,919件 ※不達除く)</li> <li>・講座修了生によるグループ活動の講義室利用の受付や助言などを行った(現在7つのグループが活動中)。</li> <li>・修了生アンケート調査時に「近況報告シート」を同封し、75名の修了生から活動状況や近況報告の返信があった。「近況報告シ</li> </ul>	

	<p>ート」は、講義室1の外壁を利用したコミュニケーションボードに掲示した。コミュニケーションボードには、市民活動支援施設で開催される講座案内など、受講生の今後の活動に役立つ情報を掲示している。</p> <p>・県内の市民活動支援施設、社会福祉協議会等が定期的に発行している情報紙を、2つの講義室内に設置しているラックにそれぞれ配架して、受講生の活動に役立つ情報提供を行った。</p>	
--	--	--

### 3 その他報告事項、所見など

#### (1) 令和5年度講座修了生アンケート調査について

- ・ 令和5年度講座修了生を対象にアンケート調査を実施（7月19日の締切を8月10日まで延長、最終回収8月18日）。修了生総数497名（延べ修了者数592名）にアンケート紙を郵送し、回収・集計を行った。うち1講座のみ修了生（428人）にはWEBフォームからも回答できるようにした。回答者数は152人、回答率は30.6%。
- ・ 主な回答結果は次のとおり。修了生アンケート調査報告は参考資料①を参照
  - 受講後の変化について
    - ・ 受講後に何らかの地域活動を「行っている」との回答が67.1%（102人）。うち68.6%（70人）が「ボランティア団体の活動やNPO活動への参加」を選択。
    - ・ 講座受講をきっかけに活動を始めた人は24.5%（25人）。
  - 地域活動を行っていない理由
    - ・ 「地域活動を行っていない」と回答した人（49人）が現在活動が出来ない理由として「多忙である」「自分に合った活動内容・活動先が見当たらない」の回答が多かった。
  - 講座の有用度
    - ・ 修了した講座が、その後の地域活動や生活に「大変役立った」「少し役立った」の回答が79.7%（153人）。
    - ・ 「役立たなかったか」と回答した人の理由として「講義の内容を活かす機会がない」「講義の内容が事前に期待していたものと違った」の回答が比較的多かった。

#### (2) 令和6年2月26日開催の「かながわコミュニティカレッジ運営業務委託団体選考第2次審査」で、委員からいただいた意見を受けて実施した事項

- ・ 「シニアライフアドバイザー養成講座」を今年度初めて開講するトピック講座として、県のホームページ上で告知した。10月26日（土）から開講。応募33名、受講予定26名。
- ・ 社会情勢やニーズの変化などに対応した新たな視点を取り入れられるよう、講座実施団体や講師と相談してカリキュラムを調整した。下記講座では、能登半島地震を契機とする防災・減災意識の高まりに応えられる内容を加え実施した。

##### 「災害ボランティア入門講座（オンライン）」

能登半島地震における災害ボランティアの経験談や、能登半島地震災害支援ボランティアバスに関する情報提供を行った。受講者39名。

##### 「共助の地域づくりを推進する講座」

災害時に浮彫となる地域のつながりを見つめなおし、日頃から防災・減災を意識して共生・共助の地域づくりを進めるため、適切な講師を招き実施している。受講者 24 名。

- 下記の防災講座は、湘南・県西地域の方の参加を促進するため、中間支援組織である「ひらつか市民活動センター」にご協力いただき、平塚市内で講座を開講した。

「防災教育ファシリテーター養成講座（初級編）」

防災に関する知識を子どもたちに伝える防災教育ファシリテーターとして必要な防災知識を実践的に学ぶ講座。特に沿岸部の避難行動を考えるワークショップ（逃げ地図）は、地域の特性や地形を知る重要な学びとなった。受講者 13 名。

- セキュリティガイドラインの講座実施団体への提示  
個人情報漏洩防止対策については、仕様書「12 各業務に共通する業務実施上の留意事項（5）個人情報等取扱体制に明確化」に従って、具体的な対策を県に提出しているが、主催講座・連携講座の講座実施団体にながわコミュニティカレッジの個人情報に関わるガイドラインとして示した。  
主な内容  
・ 個人情報の取得時、転記時、受講決定通知等の封入、送付時の確認事項  
・ FAX送信時、電子メールの送信時の確認事項  
・ 保管・廃棄の際の確認事項  
・ 再委託、講座企画実施団体に対する注意喚起 など
- 「神奈川県社会福祉協議会（かながわ県民センター11階 ボランティアセンター）」で、チラシ配架等のご協力をいただいた。また、コミュニティカレッジ講義室や廊下壁に、県ボランティアセンターよりいただいた情報を配架・掲示して連携を進めた。
- 障がいのある方に安心して受講申し込ただけできるよう、「かながわコミュニティカレッジ講座におけるバリアフリーの推進」について、講座募集チラシ及び神奈川県のコミュニティカレッジホームページに明記した。

「かながわコミュニティカレッジ講座におけるバリアフリーの推進」

かながわコミュニティカレッジ講座では、障がいのある方でも安心して受講いただけるよう、配慮を行います。

詳細については、講座を申し込まれる前にかながわコミュニティカレッジ事務局までお問い合わせください。

【聴覚障がいのある方】手話通訳や要約筆記者の依頼

【視覚障がいのある方】盲導犬を連れての受講に配慮

【弱視の方】配布資料をA3に拡大し、一番前の席を確保

【車いすをご利用の方】講義室内の動線確保、多目的トイレのご案内 など

- 「NPO会計講座（オンライン）」「傾聴講座（入門編）～人と関わるボランティア活動に向けてのスタート～②」の2講座で、聴覚障がいのある方へ配慮として、手話通訳者を手配して受講いただいた。

(3) その他

- 横須賀市では、令和5年度より「市民公益活動人材育成研修受講奨励金」として、かながわコミュニティカレッジを受講する横須賀市民に奨励金が助成される制度が始まった。制度に関する

る案内をチラシに記載し、受講決定通知を送付する際に、横須賀市民の受講生に奨励金の案内を同封している。

- 令和6年度より受講料の納付方法が、電子納付と納付書納付の2種類から選択可能となった。特にオンライン講座では電子納付を選択する人が増えている。平日日中に銀行窓口に行かれない方にとって利便性が高まっていると思われる。

以 上